

種まきのポイント

キッチンベジ 基本編

準備

育苗用の浅いトレー



または



イチゴパックの底に穴をあけたもの

または



平鉢 (4~6号くらい)
※1号=3cm



鉢底石



鉢底ネット



ふるい

あると便利なもの



ハガキ



わりばし



ラベル

※小さな苗は病気にかかりやすいので、病害虫の心配のない、清潔で新しい専用の土をつかきましょう。

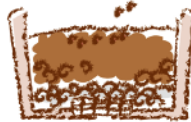
※育苗トレーやイチゴパックでタネまきをする場合は、鉢底石は必要ありません。

葉菜の場合(ガーデンレタス・パセリなど)のバラまき

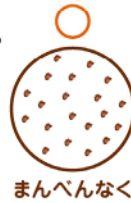
1



きれいにならした土に、まんべんなくタネをおとします。



ハガキなどを折り曲げ、タネをのせてトントンたたいておとすとやりやすいです。指でまく時は固まらないように。



まんべんなく

上から見ると...



かたまりすぎまきすぎはダメ!

2



ふるいなどでかるく土をかけて、タネが水で流れてしまわないように手で軽く土をおさえます。

その後 お水を与えます。

(お水は水たまりにならないように、何回かに分けて)

発芽するまで乾かさないように。

3



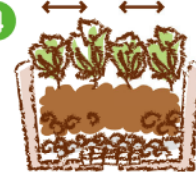
発芽!

芽がでてきたら……



ひよろひよろや ちいさい芽は間引きします。また固まって芽が出てしまったところも間引きします。

4

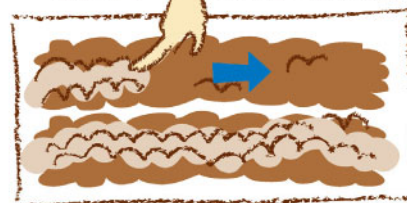


成長に合わせて、生育のよいものを残し、何回か間引きをして株間を広げます。このまま育ててもよし、畑に植えてもよいです。間引きした芽も食べられます。

根菜の場合(ラディッシュ・ミニニンジンなど)のスジまき

1

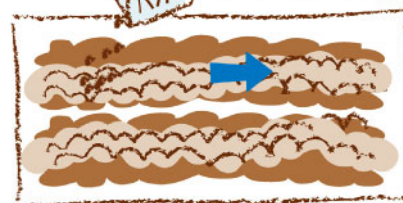
まず指でスジをつけます。



2



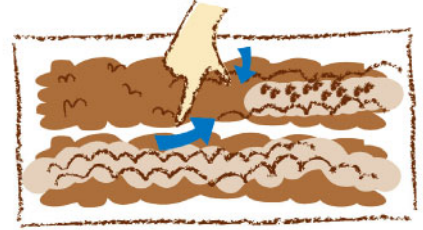
すじをつけたところに、タネをおとします。



ハガキなどを折り曲げ、タネをのせてトントンたたいておとすと、やりやすいです。指でまく時は固まらないように。

3

指をつかって左右から土をつまむようにかぶせたら、タネが水で流れてしまわないように手で軽く土をおさえます。



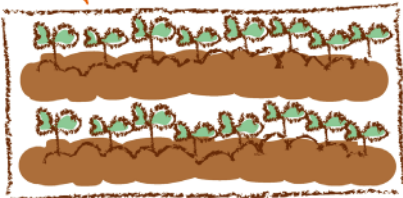
4

お水をたっぷり。(お水は水たまりにならないように、何回かに分けて) 発芽するまで乾かさないように。



5

固まってはえてしまったところや、ひよろひよろや小さな芽など間引きし、元気な芽を残します。間引きした芽も食べられます。



※カブなどの根菜は植えかえに向きませんので、タネまきした場所で育てましょう。



☆基本的なまき方として、「バラまき」と「スジまき」に分けました。プランターや鉢、お庭のデザインに合わせて臨機応変に☆